

(別表1) 協会認定一次研修 必要科目一覧

No	部門	項目	達成目標のイメージ	研修内容の例	テキスト改訂版	備考
1	企画・ 施業提案	提案型集約化施業の意義①(全体)	提案型集約化施業の意義や基本的なしくみを理解する	主催者または外部講師による講義	第1章	
2		提案型集約化施業の意義②(事例)	先進的な取組事例等により、提案型集約化施業をイメージする	先進事業者による取組事例紹介		
3		森林経営計画の作成	森林経営計画の作成のための知識、技能を習得する	行政担当者等からの制度説明		計画作成演習を行うことも良い
4		施業団地の設計	提案型集約化施業の施業地を視察し、現場の施業感覚を養う	現場視察(作業中現場・完了現場)		プロット調査実習を行うことも良い
5		森林施業プラン作成	森林所有者へ提案する森林施業プラン(提案書)の作成に係る知識・技術を習得する	先進事業者によるプラン書事例紹介	第2章	プラン書作成実習を行うことも良い
6	森林 施業	目標林型と育林技術①(講義)	将来の目標林型の設定と適切な間伐の考え方を理解する	外部講師による講義	第3・4章	
7		目標林型と育林技術②(実習)	間伐の理論と選木について理解する	施業前現場での選木実習	第3・4章	事前に実習の適地を設定し、下見を行うこと。
8		間伐の作業システムと林業機械	効率的な作業システムを構築する上での基本的な考え方を理解する	外部講師による講義、現場での説明	第6章	
9		路網開設	路網配置計画の作成、路線設計、作設の具体的方法と留意事項を習得する	外部講師による講義、現場での説明	第5章	
10		工程管理	人、機械が効率的に動くよう工程管理する必要性とその方法を理解する	先進事業者による取組事例紹介	第6章	
11	管理	利用間伐のコスト把握・分析	利用間伐の事業コスト・売上額の基本構造や収支の算出方法について理解し、適正な施業プランが作成できる知識を習得する	主催者または外部講師による講義、コスト計算演習	第7章	「間伐生産性・コスト分析シート」も適宜活用
12		提案型集約化施業の進め方①(講義)	提案型集約化施業を段階的に進めるステップと、地域の森林全体を管理する上での目標設定について理解する	主催者または外部講師による講義	第1章	
13		提案型集約化施業の進め方②(実習)	提案型集約化施業を進める上での課題を整理し、解決策を考える	グループワークショップ、個別アクションプラン作成		

※必要科目には入っていないが、「木材販売」・「コミュニケーション」・「労働安全対策」についてもプログラムに盛り込むことが望ましい。

※研修実施方法の詳細およびプログラムの参考例については、全国森林組合連合会発行「森林施業プランナー育成研修運営の手引き」を参照。

(提案型集約化施業ポータルサイト (<http://www.shuuyakuka.com/iinkai/index/>) からダウンロード可能)